

地元大学との交流

東区では、行政と地域住民・地元大学が連携して、地域の主体的な健康づくり活動を進めていくことに貢献したいと考え、平成18年度から天使大学と、また、平成21年度から、音楽を通してすでに地域との自主交流を図っていた札幌大谷大学とも、交流事業を行っています。

大学の持っているノウハウを地域住民の健康づくりに生かし、交流を深めることや、保健センターで実施している業務を大学及び住民に紹介して、理解してもらうとともに、今後における学生の教育研究・実習活動などに役立ててもらうことを目的としています。

【平成22年度 交流事業】

1 「天使祭」

天使大学の学校祭に、東区健康づくり連絡協議会と東保健センターが参加。

【健康相談・東区音頭】～天使大学

学生が血圧測定・体脂肪測定などを実施。その結果を受けて、保健センターの保健師と栄養士が個別相談を行った。また屋外模擬店脇において、地域の方が振付を教えながら、学生・来場者とともに東区音頭をみんなで楽しく踊った。



2 「健康づくりフェスティバル」

東区健康づくり連絡協議会主催事業に天使大学と札幌大谷大学、札幌市が共催。

【音楽療法】～札幌大谷大学

音楽を聞いたり、歌ったり、音楽に合わせて身体を動かすことで、心と身体がリフレッシュすることを体験した。「春よ来い」など、よく知っている歌を大きな声で歌い、また、歌に合わせて簡単な手遊びなどをした。来場者は、終始明るく楽しい雰囲気に参加していた。

